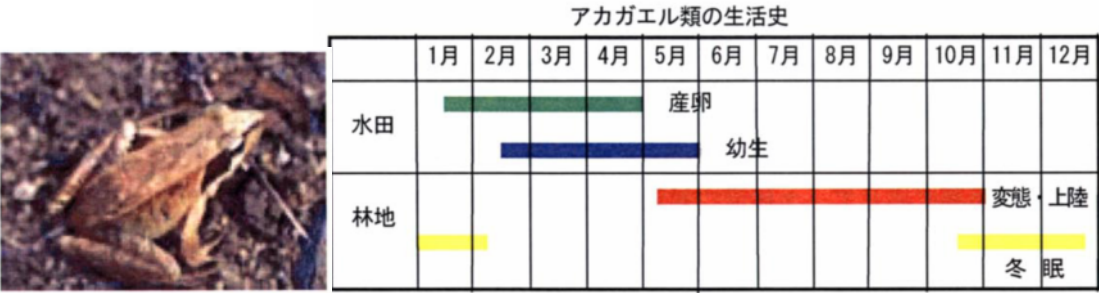


個票 10 保全対象生物の生活史に応じた、影響の少ない時期での施工時期の設定〔農 2(1)①3-1〕

(2011年作成)

配慮の視点	種の多様性への配慮	配慮項目	野生生物の保護・保全																																						
配慮事項	希少種の保全																																								
配慮事例	希少動物の生息環境や生活史などを踏まえた生息・生育環境の保全・復元・創出及び移植方法の検討																																								
内容	<p>●保全対象生物の生活史に応じた、影響の少ない時期での施工時期の設定</p> <p><b>【解説】</b></p> <p>施工に当たっては、保全対象生物の生活史に応じて、生物への影響の小さい時期を設定することが必要です。施工時期の工夫が困難な場合は、施工方法や施工範囲などの工夫により影響の軽減を図ります。</p> <p><b>【具体的な工法・配慮事項】</b></p> <p>●アカガエル類の保全</p> <p>アカガエル類を保全対象として、ほ場整備を行う場合は、アカガエル類が水田を利用する期間は避け、林地で冬眠している期間や、少なくとも変態・上陸した後に工事を実施します。</p>																																								
	 <p style="text-align: center;">アカガエル類の生活史</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水田</td> <td></td> <td colspan="3">産卵</td> <td></td> <td colspan="2">幼生</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>林地</td> <td colspan="2">冬眠</td> <td></td> <td></td> <td colspan="6">変態・上陸</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>出典：1</p>		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	水田		産卵				幼生							林地	冬眠				変態・上陸								
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月																													
水田		産卵				幼生																																			
林地	冬眠				変態・上陸																																				
参考資料	1 「環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の手引き（第3編）『ほ場整備（水田・畑）』 食料・農業・農村政策審議会、農村振興分科会、農業農村整備部会、技術小委員会 p 109																																								